

件名	平成 26 年度国民健康保険の決算状況（速報値）について				
経緯	県内 27 市町村及び 1 国民健康保険組合の平成 26 年度の国民健康保険の決算状況をまとめたものである。（参考 1 国保組合＝山梨県医師国民健康保険組合）				
内容	平成 26 年度の決算状況は、次のとおり。（単位：千円）				
	区 分	平成 26 年度	対前年度増減		平成 25 年度
	歳入総額 A	100,537,528	0.1%	124,831	100,412,697
	歳出総額 B	98,932,441	0.9%	857,738	98,074,703
	歳入歳出差引（形式収支）(A-B)C	1,605,087	△31.3%	△732,907	2,337,994
	国庫支出金等精算額 D	△727,847	32.9%	356,444	△1,084,291
	実質収支 (C+D)E	877,240	△30.0%	△376,463	1,253,703
	前年度実質収支 F	1,253,703	—	57,908	1,195,795
	単年度収支 (E-F)G	△376,463	—	△434,371	57,908
	一般会計等からの繰入等※ H	1,702,092	△11.8%	△227,941	1,930,033
	財政調整基金への積立金 I	396,537	42.8%	118,920	277,617
	実質単年度収支 (G-H+I)J	△1,682,018	△5.5%	△87,510	△1,594,508
	※一般会計その他繰入と財政調整基金繰入を合算した額				
財政調整基金保有額	3,347,742	9.8%	299,085	3,048,657	
<p>○ 形式収支は 16 億 508 万円の黒字 歳入総額から歳出総額を差し引いた形式収支は、甲府市を除く 27 保険者が黒字だった。</p> <p>○ 実質単年度収支は 16 億 8,201 万円の赤字 一般会計からの法定外繰入れ、財政調整基金の取崩し・積立てなどを加減した実質単年度収支は、前年度と比較して赤字額が 8,751 万円拡大した。また、黒字は 8 保険者で、前年度より 1 保険者減少した。</p> <p>○ 前期高齢者納付金の増、財政調整基金への積立増 歳出は、2/3 を占める保険給付費が前年度と比較し 0.9%、5 億 6,875 万円余増加、前期高齢者納付金が、171.0%、8,187 万円余と増加した。一方、歳入は、保険料（税）収納額が 1.0%、2 億 5,366 万円余、退職者療養交付金が 11.5%、6 億 2,007 万円余減少した。これらが、赤字額拡大の要因になったと思われる。 なお、財政調整基金は繰入金が増加したため、保有額は 9.8%の増加となった。</p> <p>○ 保険料(税)収納率は 1.1 ポイント上昇 平成 4 年度から 21 年度まで 18 年連続して前年度を下回っていたが、22 年度以降は前年度実績を上回り、26 年度の収納率は 92.29%となった。</p> <p>○ 医療費総額は前年度に比べ 4 億円増 全体の医療費総額は 780 億円、前年度比 0.5%増（一人当たり医療費 31 万 8 千円、前年度比 3.5%増）。被保険者数の 36.0%にあたる前期高齢者の医療費は、420 億円で全体の 53.8%を占めており、前年度比 5.0%増となった（前期高齢者 1 人当たり医療費 48 万 9 千円、前年度比 0.8%増）。</p>					

問合せ先：福祉保健部 国保援護課 国保指導担当 直通 055-223-1466 県庁内線 3263